

特集 国道289号八十里越で結ばれる二条市と只見町

八十里越の向こう側「二条市」をざく紹介



早期開通が期待される只見町と新潟県三条市を結ぶ国道289号八十里越。2023年度の開通を目指し、現在も両市町側から工事が進められています。

三条市と只見町では、この工事区間を暫定的に活用し、「八十里越通り抜けツアー」などの工事見学を積極的に行っていきます。これは、工事の進捗状況を実感することで早期開通への期待感が高まり、開通を見据えた地域間交流や連携を深める活動を活発化させる狙いがあります。

本号では、国道289号八十里越の工事の状況と通り抜けた先にある「三条市」について詳しくご紹介いたします。



▲三条市側、2号橋梁(長さ 190m)の工事を進める現場



▲只見町側・7号橋梁(33m)、土砂流出を防ぐための工事を進める現場



▲只見町側、大麻平アーチカルバート

― 国道289号
八十里越の工事 ―

国道289号は、昭和45年に国道として認定され、新潟県新潟市を起点として福島県いわき市に至る総延長約304きの道路です。

工事区間は「図1」のとおり、三条市塩野渚字御所から只見町大字叶津に至る総延長約20・8きで、国土交通省、福島県、新潟県がそれぞれ工事を実施しています。工事区間内にはトンネル14本、橋梁16本が計画され、難易度の高い整備を行っています。国内でもトップクラスの高さを誇る80m超の橋脚を備える第5橋梁(新潟県側)にも着手しており、最先端技術を駆使した工事が進められています。

― 所要時間が59分短縮

― 通年通行の恩恵 ―

現在、三条市へ行くには国道252号六十里越雪わり街道(只見町〜魚沼市間)を通るルートが一般的で、所要時

【図1】国道289号八十里越工事の「施工区間」



【図2】只見町～三条市のルート



新潟県三条市～福島県只見町間
所要時間が59分短縮

国道289号 八十里越～252号

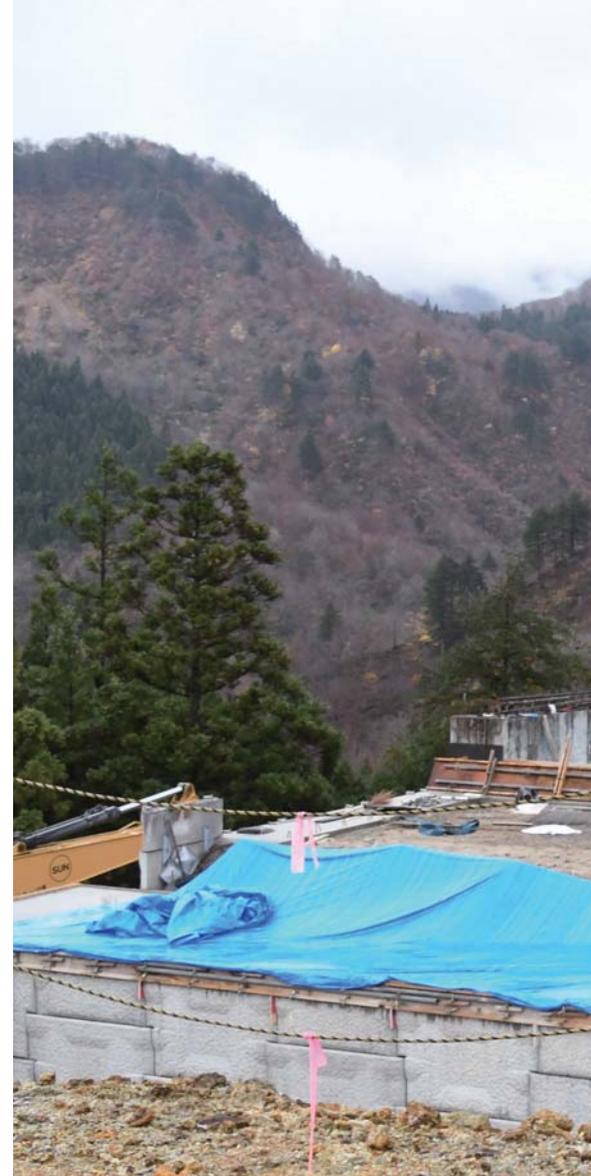
所要時間 1時間17分 (58km)

国道289号～290号～252号

所要時間 2時間16分 (87km)

北陸道～磐越道～国道252号

所要時間 3時間14分 (173km)



▲三条市側、最大で高さ 80m を超える国内トップクラスの橋脚を誇る5号橋梁(長さ 337m)の工事現場



▲三条市側、3号橋梁(長さ 64m)の工事現場から2号橋梁を望む。今後3、4号トンネルの工事が始まる

この所要時間の短縮により、2023年に三条市内に開院予定の「県央基幹病院」には、1時間以内に救急搬送できると見込まれており、今後の救命救急体制の向上が期待されます。さらに、交流人口の増加や物流などの輸送力向上による経済効果にも期待が寄せられています。

間は2時間16分とされています。しかし、只見町は日本有数の豪雪地帯のため、国道252号六十里越雪わり街道は冬期通行止めとなり、三条市への通行は会津坂下から高速道路で新潟市を経由するコース(所要時間3時間14分)、もしくはJR只見線で行くコースに限られています。国道289号八十里越が開通すると、通年通行が可能となります。図2のとおり三条市までの所要時間が1時間17分となり、国道252号六十里越雪わり街道の通行と比較すると59分の短縮が可能となる見込みです。



写真提供／三条観光協会



写真提供／三条観光協会

▲「金物のまち」として伝統の技が受け継がれている三条鍛冶



▲高い技術でつくられた包丁

産業、文化、自然が 調和する「三条市」

— 魅力あふれる三条市 —

三条市は、新潟県のほぼ中央に位置し、2005（平成17）年5月1日に三条市、栄町、下田村の3市町村が合併し誕生したまちです。市内の面積約430km²には、現在約9万9千人の市民が暮らしています。

産業では、400年以上前から「鍛冶のまち」として知られ、現在も「伝統の技」と「先端技術」が調和する新技術・新製品開発が盛んな金属産業都市です。全国的に「金物のまち三条」として有名で、市内には600を超える中小企業が存在し、三条鍛冶の伝統を受け継ぐ包丁、利器工匠具、その鍛造技術を基盤とした作業工具を始めとして、測定器具、アウトドア用品、冷

暖房機器、産業機械など広範囲に渡り、優れた製品を生産しています。また、同市は多くの企業が集まる日本有数の産業集積地であり、人口比での社長の割合が日本一多いまちとしても知られています。

信濃川の豊かな水と肥沃な土地に恵まれ農業も盛んです。米はもとより、桃や洋梨ルレクチェなどの果物、ねぎやホウレン草などの野菜も有名です。市内の下田地域はサツマイモが特産品となっており、下田のサツマイモを使った芋焼酎やコロッケなど農産物の付加価値をあげる取り組みも行われています。さらに、昨年の只見の雪まつりに出店さ





写真提供／三条観光協会

▲下田地区に群生するヒメサユリは有名で、春にはヒメサユリ祭りも行われています



写真提供／三条観光協会

▲本成寺の一大行事として行われる本成寺鬼踊りは、厄祓いの形で節分の豆まき行事として行われ、毎年多くの人で賑わいます



写真提供／三条観光協会

▲熱気と興奮につつまれる「ただふるさと祭り」で開催される雨生の大蛇祭



写真提供／三条観光協会

▲新潟県指定無形民俗文化財にもなっている三条の「凧合戦(いかがっせん)」



▲日本有数の生産量を誇る三条市の「車麩」



写真提供／三条市

▲果樹栽培が盛んな三条市でつくられている洋梨ルレクチェ



▲三条カレーラーメンは 70 年以上の歴史があり約 70 店で食することができます

訪れることが可能となります。

十里越が開通すれば、いつでも

このように、三条市は産業

と文化、自然が調和した魅力

的なまちです。国道289号八

院」では、それぞれ「鬼おど

り」「三条まつり」「お取り越

し」といった大きな行事が行

われます。

市内の下田地区は豊かな自

然環境に恵まれ、景勝地八木

ヶ鼻の周辺には温泉があり、

トレッキング、五十嵐川でのカ

ヌーなどのアウトドア体験が

できます。一方、市街は城下

町の寺町が基礎となっており、

市内のシンボリックな存在であ

る「本成寺」「八幡宮」「東別

れた三条カレーラーメンや只

見でもよく食される車麩とい

った食文化も有名です。

立地では、東京から上越新

幹線わずか2時間、高速道

も関東、北陸、東北方面とつ

ながっており、新潟空港から

も約1時間とアクセスも抜群

です。

三条市見どころマップ

さんじょうし

前頁で紹介したとおり、三条市は産業、文化、自然が調和した魅力あふれるまちです。
ここでは、只見町と三条市の玄関口「下田地域」を中心に、見どころポイントをご紹介します。



写真提供 / 三条市

八木ヶ鼻(やぎがはな) 新潟県三条市北五百川 35

高さ200メートル以上の石英粗面岩の壁が五十嵐川の上流にそそり立ち、岩肌が朝日に照らされる姿は神々しくもあります。自然の恵みを一身に受け、春は淡く、夏は強く、秋は艶やかに、そして冬はしっとりと、季節の度に塗り替えられる絵画のように訪れる人の目を楽しませてくれます。八木ヶ鼻は古来よりハヤブサの生息地として知られています。ハヤブサは候鳥(渡り鳥)とされていましたがここでは通年その姿を見ることができ、毎年6月初旬には親鳥に育てられた3~4羽の幼鳥が巣立っています。新潟県景勝100選に選ばれた断崖絶壁の八木ヶ鼻近くの院内地内五十嵐川右岸嵐北用水路の沿道には、春の到来とともに桜の花が咲き、美しい光景を目にすることができます。

いい湯らてい(いいゆらてい) 新潟県三条市南五百川 16-1

大自然に囲まれた日帰り温浴施設「いい湯らてい」。新潟景勝100選の「八木ヶ鼻」を一望でき、男女別で露天風呂、ジェットバス、バイブラスがあります。お食事所も充実しており、ゆっくりお過ごしいただけます。



大谷ダム(おおたにだむ) 新潟県三条市大谷 171-2

大谷ダムは、五十嵐川に多目的ダムとして建設され、平成5年に完成しました。ダムは中央しゃ水壁型ロックフィルダムで、高さ75.5メートル、総貯水容量2,110万立方メートル、有効貯水容量1,705万立方メートル、洪水調節と流水の正常な機能の維持、上水道用水の確保を目的としています。ダム湖はひめさゆり湖と命名され、ダム湖周辺には公園が整備されています。せせらぎ広場では水と親しむことができます。





燕三条地場産センター(メッセピア)

(つばめさんじょうじばさんせんたー)

新潟県三条市須頃1丁目17番地

物産館には、日本有数の金物産地新潟「燕三条」製品が勢揃い。伝統的な職人技から最先端のテクノロジーを駆使した製品まで豊富な品揃えです。約10,000点の洋食器・刃物他キッチン用品・鍋などを産地価格で販売しております。また、外国人旅行者の増加に対応するため、平成27年4月2日より免税店となりました。

県央基幹病院

(けんおうきかんびょういん)

【建設予定地】JR燕三条駅付近

平成35年度の開院を目標に、救命救急センターを併設した県央基幹病院。救命救急医療や高度・専門的医療の確保のため、周辺医療機関との連携と役割分担による新たな医療体制の構築を目指しています。



▲完成イメージ図(新潟県HPより参照)



道の駅 漢学の里しただ

(みちのえきかんのくのとしただ)

新潟県三条市庭月451-1

「道の駅 漢学の里しただ」は国道289号沿い”景勝八木ヶ鼻”近くにあります。大漢和辞典の編集者である諸橋轍次博士の生家・記念館や農家レストラン庭月庵悟空、農産物直売所彩遊記とともに文化と食の里として親しまれています。



写真提供/三条市

諸橋轍次記念館(もろはしてつじかねんかん)

新潟県三条市庭月434-1

記念館には、博士の遺品・遺墨などの作品や貴重な資料が展示・収蔵されています。「漢字でのひらクイズ」や「漢字サークルビジョン」など子どもと大人が一緒に楽しめる施設となっており、敷地内には生家・遠人村舎・庭園も併設されており、無料で見学・散策することができます。



写真提供/三条市